



من الشعب الياباني  
From the People of Japan

在レバノン日本国大使館

令和2年3月6日

## 【ワーベル・パレスチナ難民キャンプにおける UNRWA 事業完了式典】

3月4日、大久保大使は、我が国の資金を活用して UNRWA により実施されている「ワーベル・パレスチナ難民キャンプにおける改修及び医療機材整備」事業の完了式典に出席しました。

この事業は、深井戸の掘削によりキャンプ住人に対して清潔な水を提供することを可能にするとともに、UNRWA の運営する診療所をキャンプの外から中へ移し、医療器材を整備することにより、医療サービスへのアクセスを改善するものです。我が国は、本事業実施のため、2018年に UNRWA に100万米ドルを拠出しました。

式典において、大久保大使は、「日本は、パレスチナ難民のための基礎的サービスを確認し、社会的・経済的な負担を軽減するための人道上・開発上の取り組みを継続していく」旨述べ、日本のパレスチナ人との連帯を強調しました。

本式典には、コルドーネ UNRWA レバノン所長や、バルーク・バールベック市長も出席し、ともに我が国によるパレスチナ支援に対し感謝の意を示しました。



深井戸前での集合写真



大久保大使のスピーチ



保健所のテープカット



保健所内視察

